

## コーチング研修【シラバス】

福祉研修センター

1 研修事業名	令和元年度 コーチング研修
2 事業目的・ねらい	<p>指導的職員の役割の一つに後輩職員の指導が挙げられます。指導方法の中には、知識を与える方法もあれば、職員自らの気づきを促す方法もあり、職員の成熟度や指導内容に応じ変える必要があります。</p> <p>そこで、本研修では、部下・後輩が自ら考え、行動できる力を育てるために、職員の強みややる気を引き出す技術の一つであるコーチングの基本について学び、今後の職員育成の際に活用できることを目的に研修を実施します。</p>
3 到達目標	<p>(1) 職員の成熟度に応じコーチングを活用することについて理解する。</p> <p>(2) コーチングの基本的技術である「質問する、聴く、承認する」技術を習得する。</p>
4 対象者	県内の社会福祉施設・事業所等において、指導的立場にいる職員 定員：40名

5 科目名	職員の成熟度に応じたコーチングの活用について
6 講義担当者名	大谷 佳子 氏（昭和大学保健医療学部 講師）
7 講義の日程	令和元年11月7日（木）、11月8日（金）の2日間 各日10時～16時
8 時間数	2日間とも6時間（休憩時間含む）
9 講義の方法	講義・演習
10 科目のねらい	（上記、2.事業目的・ねらいと同じ）
11 科目の内容	<p>① 今までの指導方法の振り返り</p> <p>② コーチングの理論について</p> <p>③ コーチングを活用する状況について</p> <p>④ コーチングの基本技術（「質問する」「聴く」「承認する」）について</p>
12 使用テキスト	講師作成のレジュメ
13 使用機材	パソコン、プロジェクター